

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

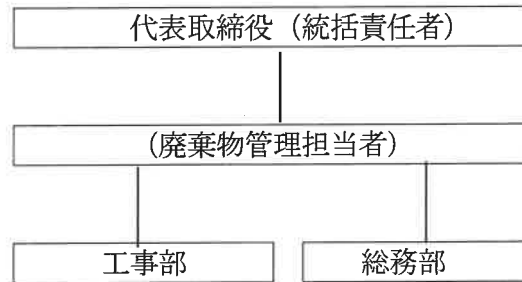
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 5月14日	
(宛先) 松山市長	
提出者	
住 所 愛媛県松山市森松町125番地1	
氏 名 株式会社 新開発	
代表取締役 新開 栄二郎	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 089-975-1173	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 新開発
事業場の所在地	愛媛県松山市森松町125番地1
計画期間	令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元受け完成工事高 4.5億円/年
③ 従業員数	13人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物発生→自社運搬又は運搬業者委託→中間処理業者委託

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



【工事部】

- ・各現場で発生する産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量の把握
- ・各現場で保管施設での産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量の把握
- ・各現場での保管施設の維持管理点検
- ・中間処理施設の稼働状況の把握
- ・部内で発生する産業廃棄物を調査、集計して記録
- ・産業廃棄物の適正処理費用の算出
- ・産業廃棄物の種類ごとの発生量、搬出量及び性状等のチェック、集計表
- ・委託業務の支払い方法による業者管理

【総務部】

- ・行政に対する報告等
- ・処理業者委託の委託契約書、マニフェスト等の管理
- ・産業廃棄物の適正管理及び減量に関する社内啓発
- ・産業廃棄物の発生から処分までを統括的に把握管理
- ・産業廃棄物処理計画の策定及び実施
- ・各部間の調整及び指示

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙のとおり

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t

(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（ 6 年度）実績】										
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合 廃棄物	木くず	ガラスくず、コン クリートくず及び陶	繊維くず	がれき類	管理型混合廃 棄物	金属くず	発電機機械 器具	廃石綿等
	排出量	2.58 t	7.82 t	122.79 t	5878.79 t	0.10 t	202.16 t	1.07 t	19.75 t	0.03 t	9.66 t
	（これまでに実施した取組） 事業所において排出を出来るだけ抑制している。										
	【目標】										
①計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合 廃棄物	木くず	ガラスくず、コン クリートくず及び陶	繊維くず	がれき類	管理型混合廃 棄物	金属くず	発電機機械 器具	廃石綿等
	全処理委託量	1.0t	5.0t	70.0 t	700.0 t	0 t	100.0 t	1.0 t	10.0t	0t	0t
	（今後実施する予定の取組） 撤去工事で発生した設備機器の利活用促進。 プラスチック廃棄物に関しては、排出抑制や再資源化を積極的に進める。										

		(今後実施する予定の取組) 職場内の廃棄物削減量の意識調査を行う
産業廃棄物の分別に関する事項		
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6年度）実績】 該当無し		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6年度）実績】 該当無し		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t

		(これまでに実施した取組)	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
		(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6年度）実績】 該当無し		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t

		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合 廃棄物	木くず	ガラスくず、コン クリートくず及び陶	繊維くず	がれき類	管理型混合廃 棄物	金属くず	発電機機械 器具	廃石綿等
全処理委託量	2.58 t	7.82 t	122.79 t	5878.79 t	0.10 t	202.16 t	1.07 t	19.75 t	0.03 t	9.66 t
優良認定処理業者への 処理委託量	1.48 t		54.69 t	4937.56 t		202.16 t	1.07 t	19.75 t		9.66 t
再生利用業者への 処理委託量										
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量										

(これまでに実施した取組)

優良認定処理業者への処理委託を多くする。

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	建設混合 廃棄物	木くず	ガラスくず、コン クリートくず及び陶	繊維くず	がれき類	管理型混合廃 棄物	金属くず	発電機機械 器具	廃石綿等
全処理委託量	1.0t	5.0t	70.0 t	700.0 t	0 t	100.0 t	1.0 t	10.0 t	0 t	0 t
優良認定処理業者への 処理委託量										
再生利用業者への 処理委託量			50.0 t	300.0 t	0 t	50.0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量										
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量										

(今後実施する予定の取組)

コンクリートや木材などの廃棄物を適切な分別を行い、専門のリサイクル業者へ委託することで、資源循環を促進しています。

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

- 7 ※欄は記入しないこと。